

# 経営トップと社員が一体と なり取り組んだ持続可能な 温泉リゾートの実現

2025. 1. 23  
株式会社 一の坊

# 要 旨

## 1 概 要

団体客向け既存設備の改修と運用を、経営トップと現場社員が一体となって取り組んだ省エネ活動です。

## 2 課 題

水道光熱費が重荷（団体客から個人客に客層シフト）

## 3 取 組

- (1) 社長を筆頭とした快適エコ活動推進委員会の設置
- (2) 省エネ活動が中長期的に継続できる仕組みの導入

## 4 成 果

事業所全体の約40%のエネルギー使用量を削減

# 発表項目

- 1 会社概要
- 2 快適エコ活動の紹介
- 3 快適エコ活動の成果
- 4 快適エコ活動の今後の方向性
- 5 まとめ



# 会社概要(1/3)

社名：株式会社 一の坊  
創立：1950年1月20日  
代表者：代表取締役 高橋 弘行  
所在地：

- 本社 〈宮城県仙台市〉
- 温泉宿 〈宮城県仙台市&松島町〉
  - ・仙台 作並温泉 ゆづくしSalon一の坊
  - ・松島温泉 松島一の坊
- 飲食店 〈宮城県利府町〉
  - ・かきとあなご 松島 田里津庵

伊達 政宗



日本三景 松島

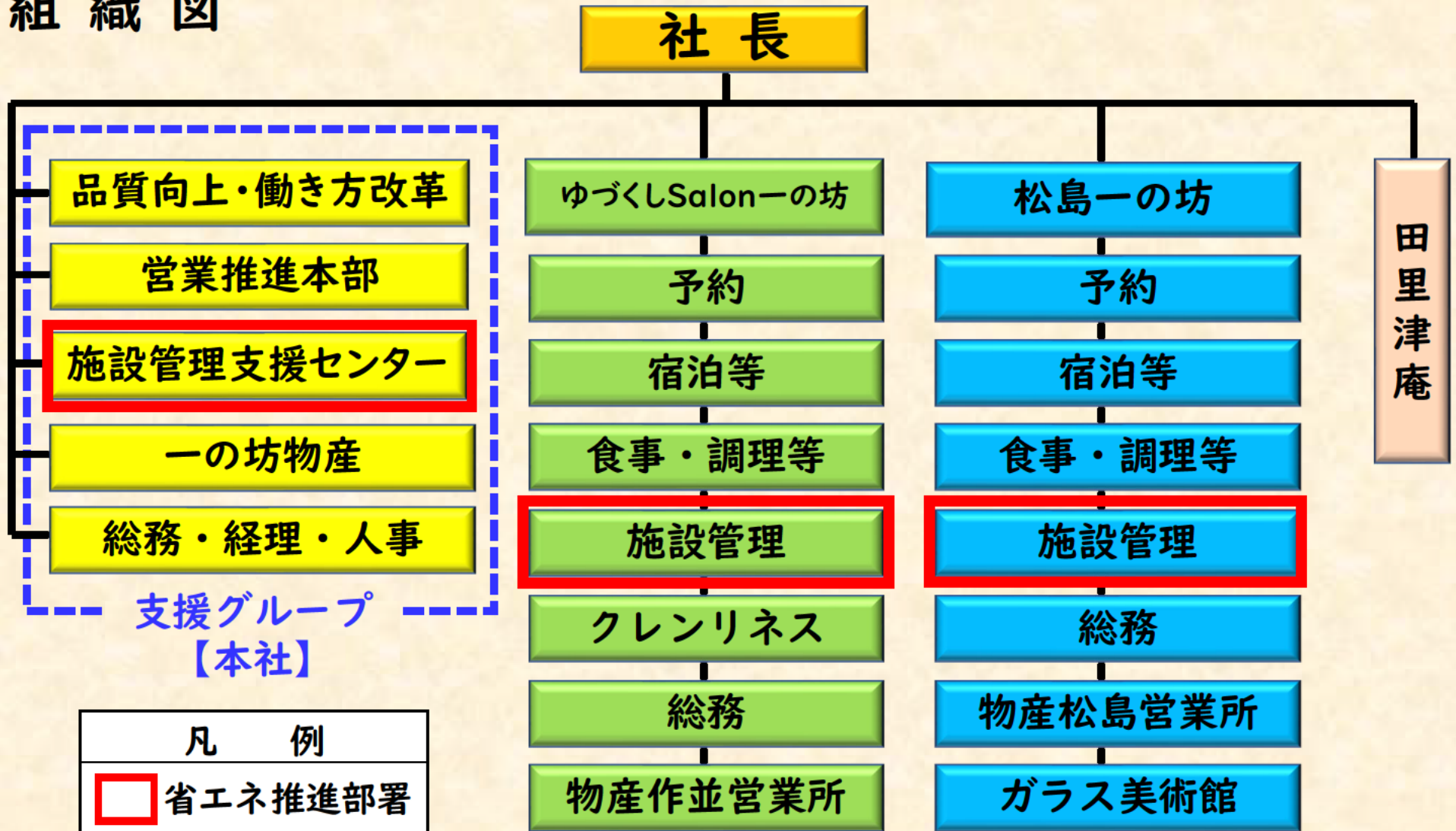


# 会社概要(2/3)



# 会社概要 (3/3)

## 組織図



# 快適エコ活動の紹介(1/7)

- 1 快適エコ活動とは  
温泉宿の客層主体を、団体客から個人客へとシフトするにあたり、団体客向け既存設備の改修と運用を二つの快適を念頭に改善した省エネ活動になります。

お客様の  
笑顔



社員の  
幸福

## 2 快適エコ活動の指針

- お客様の快適性を損なわないこと。
- 全社員がエネルギー（水道光熱費+社員労力）の無駄を自ら発見し改善提案すること。
- 温泉宿としての再生可能エネルギーを利用すること。

# 快適エコ活動の紹介(2/7)

## 3 推進体制

快適エコ活動責任者  
(社長)

- 毎月開催
- 中期事業計画の審議・承認
- 年度事業計画の審議・承認
- 省エネ報告及び省エネ提案

快適エコ活動統括者  
(施設管理支援センター長)

快適エコ活動企画推進者  
(施設管理支援センター)

快適エコ活動推進委員会

ゆづくしSalon一の坊  
快適エコ活動委員  
(施設管理担当者)

松島一の坊  
快適エコ活動委員  
(施設管理担当者)

ゆと森倶楽部&だいこんの花  
快適エコ活動委員  
(施設管理担当者)

グループ会社



# 快適エコ活動の紹介(3/7)

## 4 快適エコ活動の取組の考え方【独創性】

各温泉宿と一体となり、快適エコ活動を推進するために、以下の**取り組みの考え方を基準**として事業化しております。

区分	取り組みの考え方	主担任
新設設備	省エネ設備を積極的に導入します。	支援グループ (施設管理支援センター)
既存設備の改修	投資回収6年以内、かつ、省エネ率50%以上の設備を優先して改修します。	
	投資回収6年以上のものは、老朽更新時の改修を基本とします。	
各種制度の活用	補助金・減税措置・省エネ診断等を活用し、導入経費の削減・評価支援をします。	
設備運用	省エネが期待できる運用事例を参考にして、運用方法を見直し、改善していきます。	各温泉宿 (施設管理)

# 快適エコ活動の紹介(3/7)

4 快適エコ活動の取組の考え方【独創性】  
 各温泉宿と一体となり、快適エコ活動を推進するために、  
 以下の**取り組みの考え方を基準**として事業化しております。

区分	独創項目	概要
新設設備	再生可能エネルギーの利用促進	①温泉宿が行う省エネ活動の位置づけを定義 温泉宿の先駆者として温泉廃熱の利用を積極的に実践して成果を出す。
既存設備の改修	投資効果を向上させる制度の利用	②補助金【補助金申請支援可能な事業者の選定】 →補助金利用により投資回収年数の短縮
各種制度の活用		③減税処置【中小企業等経営強化法の活用】 →即時償却又は取得価額の10%税額控除で節税
設備運用		④省エネ診断【省エネルギーセンター等を利用】 →問題点の洗出し・改善提案受け →補助金審査での加点

# 快適エコ活動の紹介(4/7)

## 5 快適エコ活動アイテム【汎用性・波及性】

アイテムの**省エネ率**及び**投資回収の基準**を定め、当社実績から修正しつつ**省エネ改善手段の検討**に利用しています。

区分		快適エコ活動アイテム	省エネ率 (%)	投資回収 (年)
設備改修	建築	断熱型Low-E複層ガラスに更新	10%	6
		窓への遮光シート貼り付け	5%	2
	給・排水設備	冷温水発生器ポンプのインバータ化	50%	2
		<b>浴槽循環ポンプのインバータ化</b>	<b>50%</b>	<b>1</b>
		温泉熱の廃熱回収	40%	12
		温水配管の保温対策強化	10%	2
		浴槽の不使用时间帯の熱放射対策	10%	1
		浴室シャワーヘッドの節水化	30%	4
		共用トイレ照明の人感センサー化	60%	5

# 快適エコ活動の紹介(4/7)

## 5 快適エコ活動アイテム【汎用性・波及性】

アイテムの**省エネ率**及び**投資回収の基準**を定め、当社実績から修正しつつ**省エネ改善手段の検討**に利用しています。

区分		快適エコ活動アイテム	省エネ率 (%)	投資回収 (年)
設備改修	空調	セントラル空調機の更新	50%	5
		変圧器の統合、高効率化更新	40%	13
	照明	蛍光灯・電球のLED化	65%	3
		誘導灯(24時間点灯)のLED化	80%	6
設備運用	共通	不使用室の消灯・空調停止	∞	0
		バックヤード照明の間引き	5%	0
	清掃	客室内清掃時の空調・照明停止	∞	0
		空調機フィルターの定期清掃	10%	0
	厨房	厨房換気ファンの運転時間見直し	∞	0
		厨房用冷凍庫・冷蔵庫の集約	10%	0

# 快適エコ活動の紹介(5/7)

## 6 快適エコ活動の中期サイクル【改善持続性】

### 現在の設備と運用状況を把握

- ①設備の修繕状況・毎月の水光熱使用量を把握
- ②設備の修繕頻度・水光熱使用量の変化等から  
 問題点の洗出し【省エネ診断利用で代替可能】

### 省エネ対策の検討

- ③設備改修の快適エコ活動  
 アイテムで検討  
 【省エネ診断利用で代替可能】

### 成果の報告と計画改善

- ⑦成果を役員報告し予算反映
- ⑧新たな問題点をもとに改善

### 省エネ中期事業計画の作成

- ④大規模な補助金利用は、業務負荷を軽減するため、異なる年度に分散
- ⑤LED照明更新は、電球交換時期でのコスト等を考慮し、年度平準化
- ⑥設備運用の快適エコ活動アイテムを準備して、社員参画の環境を整備

# 快適エコ活動の紹介(6/7)

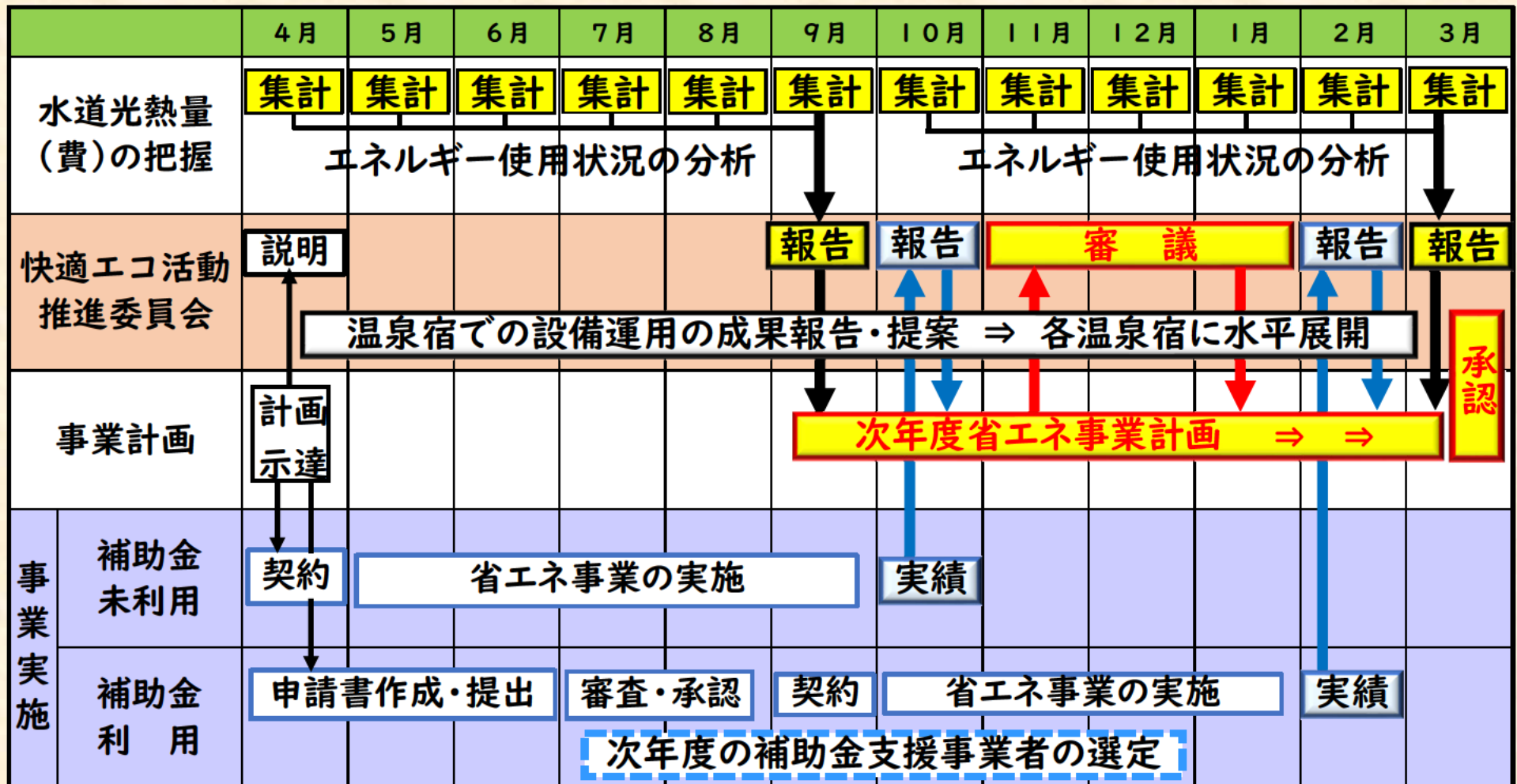
## 7 中期事業計画(ゆづくしSalon一の坊)の例 **【改善持続性】**

(単位:千円)

事業内容		事業経費(※:補助金利用後の実負担額)				補助金の利用状況	
		小計	2021年度	2022年度	2023年度		
設備 改修	温泉廃熱回収 システムの導入	投資額	34,000	※11,300		○2021年度 <b>【補助率:2/3】</b> ・二酸化炭素排出抑制 対策事業(環境省) ・二酸化炭素排出削減 支援事業(宮城県)	
		削減額	2,000	2,000			
	蒸気及び温水配管 バルブの保温	投資額	500		500		
		削減額	250		250		
	給湯・暖房システム へ更新(老朽更新)	投資額	30,000		※15,000		
		削減額	1,600		1,600		
	給水ポンプの インバーター化	投資額	2,000		2,000		
		削減額	1,000		1,000		
	空調機の更新 (緑風館・ダイニング)	投資額	20,000		※10,000		
		削減額	1,100		1,100		
設備 運用	照明器具のLED化 (外灯・客室・誘導灯)	投資額	6,000	2,000	※1,000	○2022&2023年度 <b>【補助率:1/2】</b> ・環境に配慮した持続 可能な周遊観光促進 事業における省エネ 対策促進(観光庁)	
		削減額	1,000	330	340		
設備 運用	・空調設定温度緩和	投資額	0	0			
	・デマンド装置活用	削減額	1,100	1,100			
実質の投資額合計			42,800	13,300	13,000		16,500
補助金利用額合計			49,700	22,700	11,000		16,000
年間の削減額合計			8,050	3,430	2,440		2,180

# 快適エコ活動の紹介(7/7)

## 8 快適エコ活動の年間サイクル【改善持続性】



# 快適エコ活動の成果(1/3)

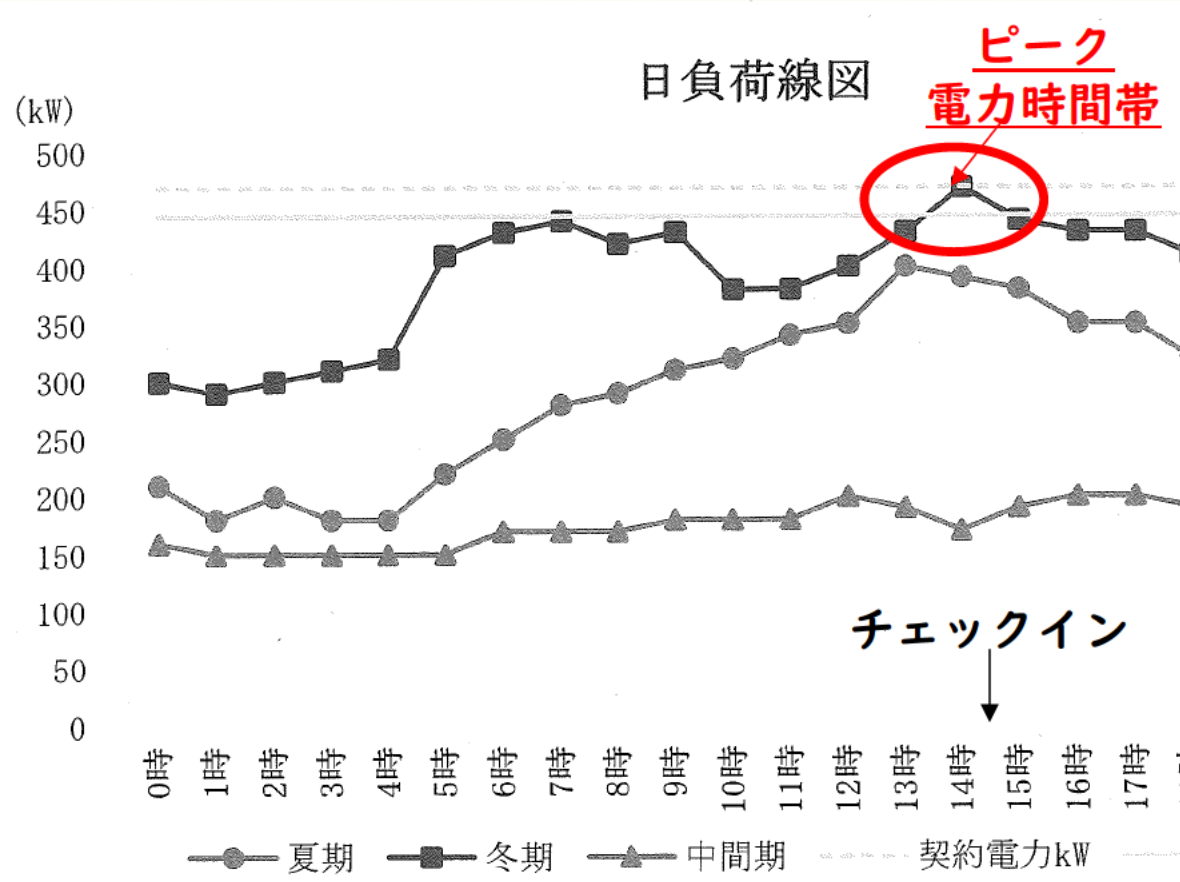
## 快適エコ活動の内容及び成果

省エネ内容		設備の概要	使用量削減 (KL/年)	光熱費削減 (千円/年)
設備 改修	循環ポンプの インバーター化	15kW×1台、11kW×1台 7.5kW×2台、3.7kW×1台	58	6,710
	給湯機の エネルギー転換	重油ボイラーから 電気式メガキュートへ換装	114	7,980
	空調機の個別化	中央方式から 109台の個別方式に更新	235	27,190
	照明のLED化	約1,300台をLED更新	79	9,130
設備 運用	施設利用スペース の見直し	・食事提供場所の一本化 ・団体客向け施設の閉鎖	471	21,880
	社員の改善意識	・食器洗浄、調理の仕方 ・空調、照明の調整方法	24	2,400
合 計			981	75,290



# 快適エコ活動の成果(2/3)

## デマンド監視装置の有効活用



### 改善提案の内容

デマンド監視装置のデータ

↓ 日負荷線図

ピーク電力の時間帯を把握

↓ 13時～15時

ピーク時の使用機器を調査

↓ 客室空調機

ピーク時の使用機器を抑制

客室空調機の電源投入を12時から逐次実施に変更

↓

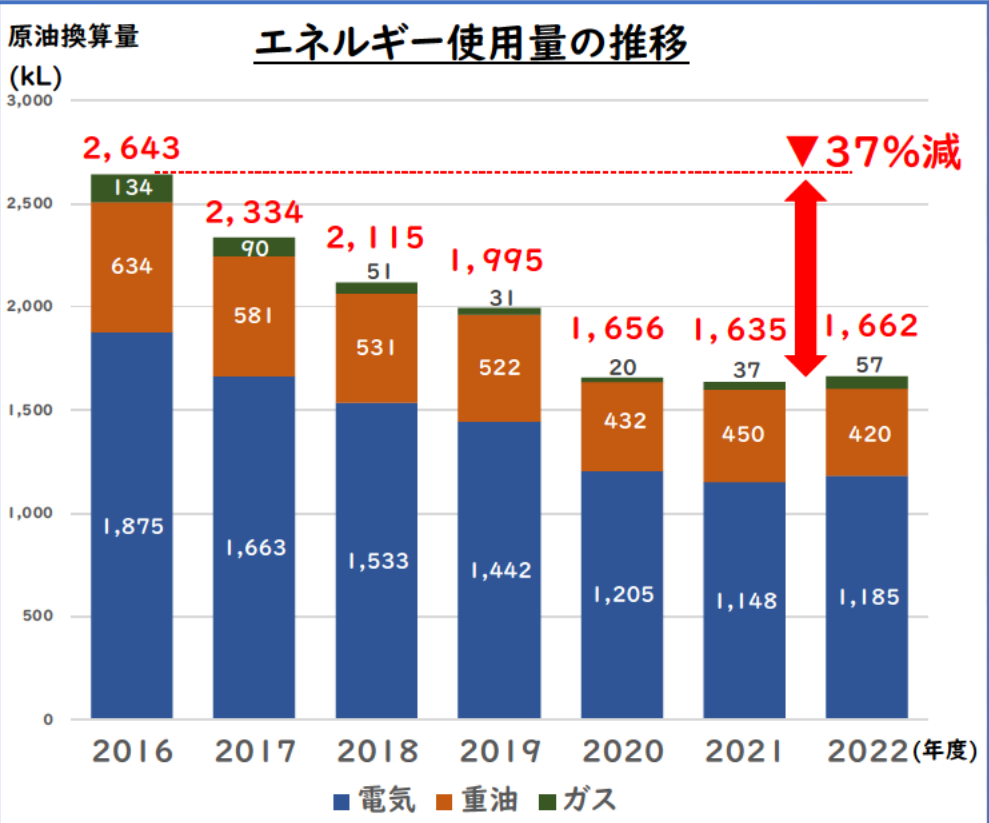
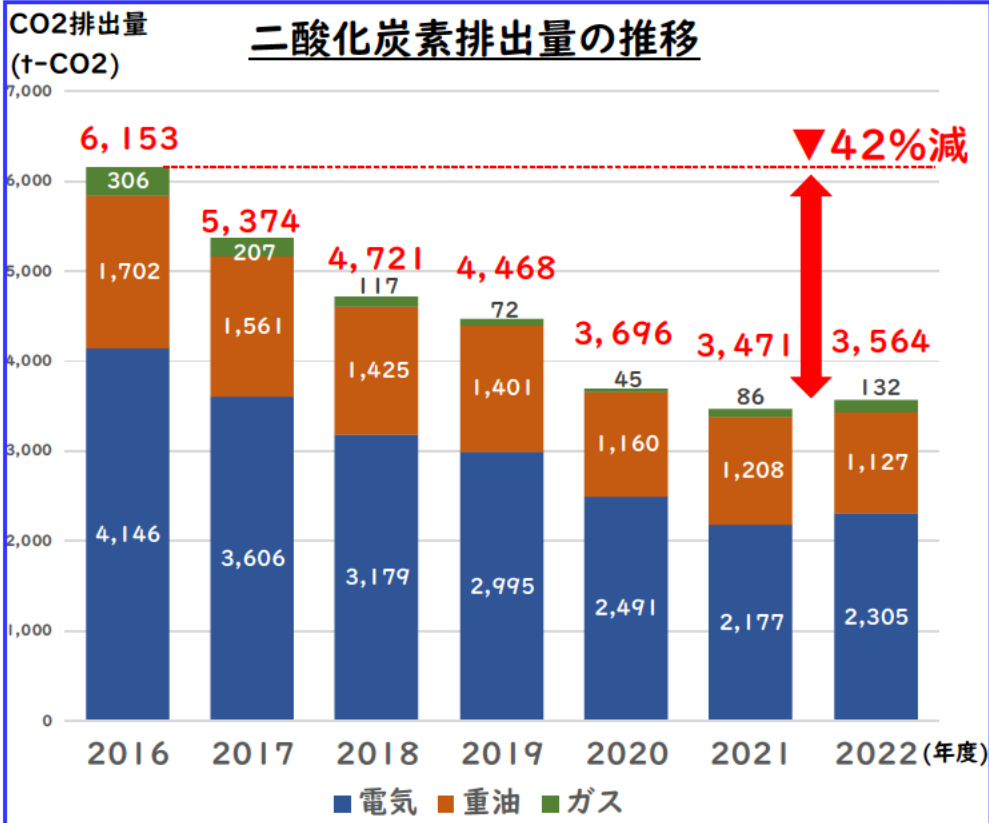
ピーク電力を30kW削減

↓

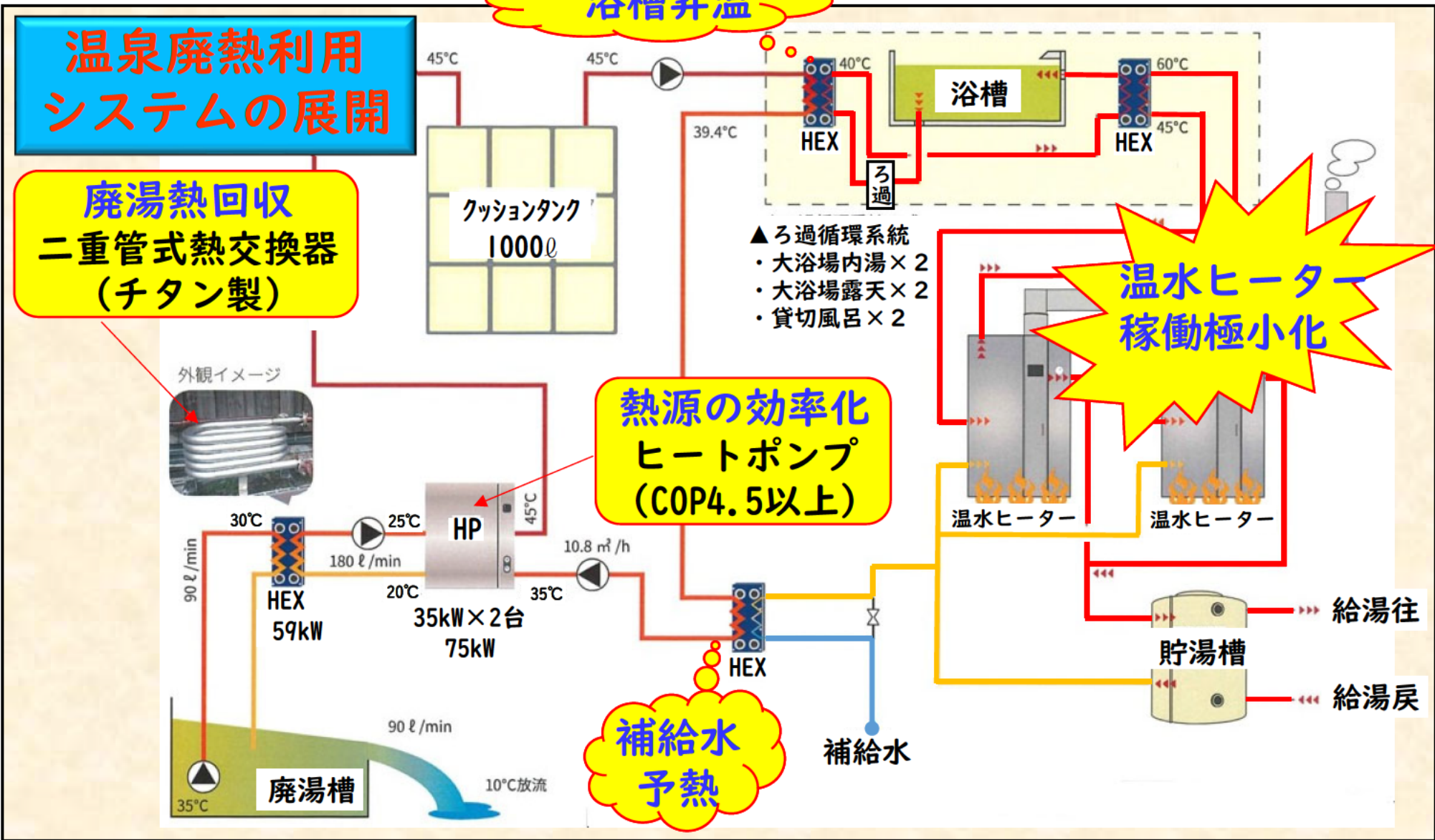
**年間基本料金64万円の削減**

# 快適エコ活動の成果(3/3)

**二酸化炭素排出量・エネルギー使用量：約40%削減**



# 快適エコ活動の今後の方向性(1/2)



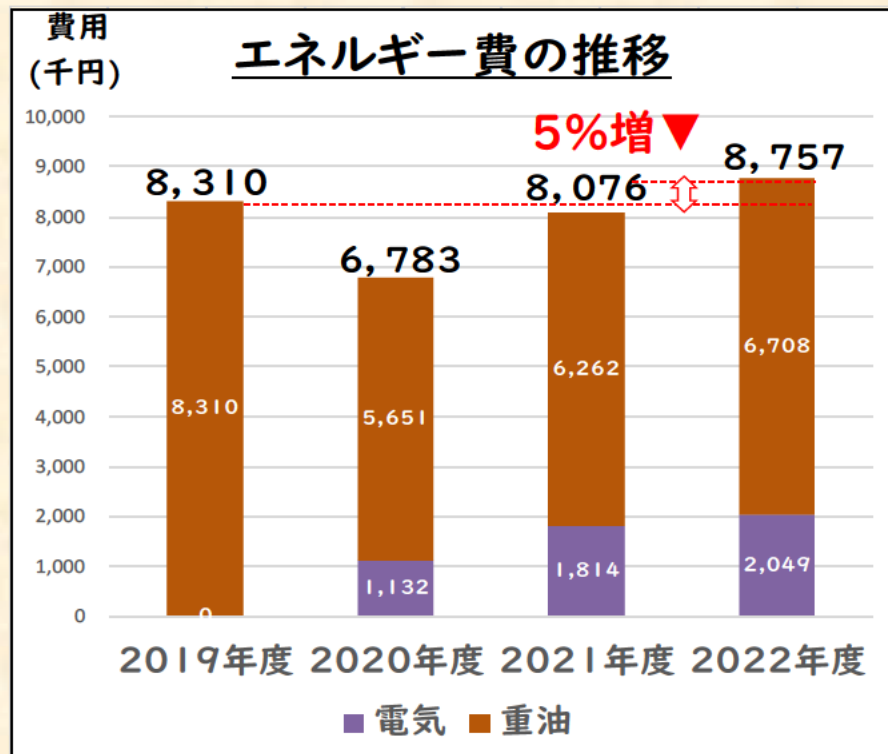
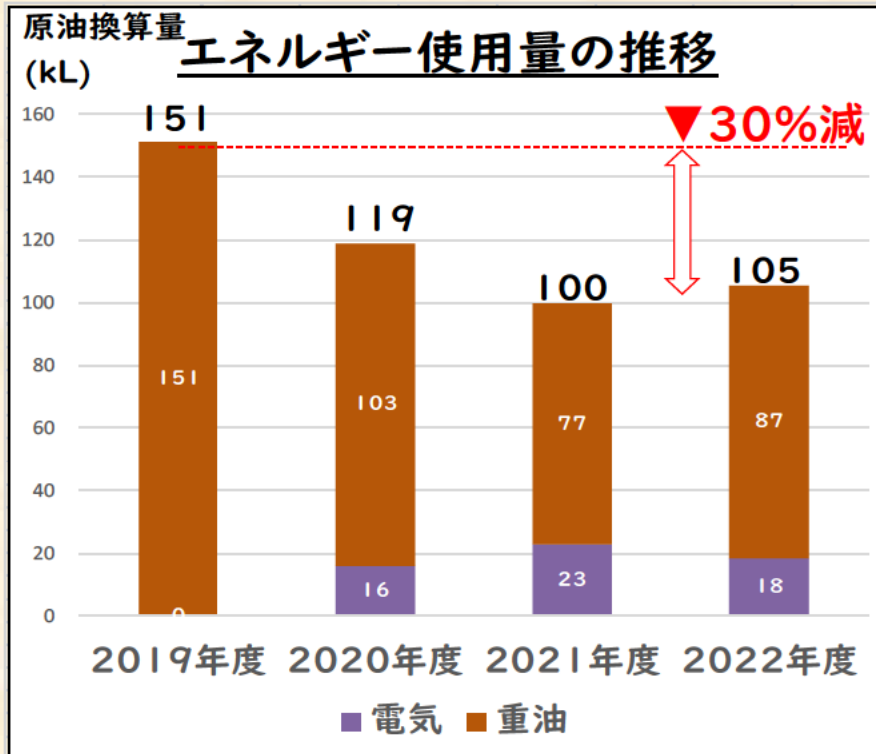
# 快適エコ活動の今後の方向性(2/2)

## 温泉廃熱利用 システムの効果

【グループ会社「ゆと森倶楽部」での実績】

○原油換算での比較：約30%削減されました。

○金額換算での比較：燃料費高騰においても、約5%増加の収まり。



# ま と め

## 快適エコ活動の効果

- 省エネ活動を円滑に行う組織に成長  
トップと現場が認識を一体化できる環境として定着
- 省エネ活動を継続する仕組みに成長  
省エネ事業が予算化され、事業サイクルとして定着

## 省エネ活動の第一歩

- 省エネ診断など評価支援制度の利用  
問題点の洗い出し・改善提案などを受けることで  
省エネに着手する具体的な内容のイメージ化



